

永続的な同窓会運営へ!



発行所 四日市工業高等学校 鶴ノ森同窓会
編集責任者 田中正美
印刷所 東海出版

母校との連携強化と 地域・支部活動の促進を



会長 田中正美

会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は母校並びに鶴ノ森同窓会に対し、深いご理解とご支援を賜りまして感謝申し上げます。

過日、五月十一日の総会に於いて、富山前会長



校長 西尾雅二

鶴ノ森同窓会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より本校教育の振興にご理解と多大なるご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、平成三十年度末の定期人事異動により、校長として新たに就任いたしました西尾雅

るといふ自覚と、歴史ある鶴ノ森同窓会の会員であるという誇りを、今こそ改めて認識しつつ、地域社会へ貢献して行かなければと思う次第です。

今では、会員数も約三万人を超える大きな組織となりました。そして三年後、二〇二二年には母校が創立百周年を迎え、またその後、同窓会の設立百周年を迎えます。記念すべき節目となる様、同窓会運営を永続的に継続・発展させて行かなければなりません。それには次の二つの活動が必須だと考えております。

一つ目は「母校との連携強化」であります。近年は、母校との連携も少なくなっており、現状は関係が希薄になっていると感じております。今後は学校と同窓会との情報共有を図り、充実した活動・支援に繋がって行ければと考えております。

二つ目は、会員相互のコミュニケーション促進です。企業支部はそれぞれに新人も入って来て継続されていますが、地域支部につきましては会員の減少により、活動が年々難しい状況となっております。最近では会員相互に限らず、特に若い人とのコミュニケーションが難しい時代となって来ています。今年度より地域支部を含めた新支部結成および活動再開へと、本部より「支部活動の育成・強化」を働きかけたいと思っております。

化」の影響は、大きく、これからの社会を担う若い力の減少は、産業社会にもつながっていくことにもなります。本校は、工業高校の存在や役割をしっかりと示す魅力ある教育活動の取り組みを進めていかなければなりません。

二つ目は、会員相互のコミュニケーション促進です。企業支部はそれぞれに新人も入って来て継続されていますが、地域支部につきましては会員の減少により、活動が年々難しい状況となっております。最近では会員相互に限らず、特に若い人とのコミュニケーションが難しい時代となって来ています。今年度より地域支部を含めた新支部結成および活動再開へと、本部より「支部活動の育成・強化」を働きかけたいと思っております。

今回、本部役員も新旧入れ替わり、万全な体制作りへと準備をしているところでありますが、会員の皆様方及び関係者の方々の協力・ご支援が不可欠であります。どうかご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

また、学業はもとより部活動等を通じ、協調性や忍耐力、コミュニケーション力、そして人を思いやる心の育成も含め、力強くしなやかな心を培っていきたくと思っております。

最後にになりましたが、鶴ノ森同窓会の皆様方におかれましては、引き続き、変わらぬご支援ご協力を賜りますことをお願いいたします。会員の皆様方を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

富山前会長を偲んで 鶴ノ森同窓会の富山実前会長は、昨年の九月にご逝去されました。夏も過ぎ、秋を迎える頃、突然富山実前会長の訃報を受けました。



富山前会長のご逝去

富山さんは、昨年五月の同窓会総会において新会長として、会員の皆様から絶大な信頼をいただき、その後、鶴ノ森同窓会の細部の協議をされた。計報に自分の耳を疑いました。

富山さんは、長きに亘り副会長として活躍され、昨年の五月同窓会総会で新会長として選任され、今後の活躍が期待されておりました。私の後を会長として引き継いでいただいた後継者として突然のご逝去は誠に残念であります。温厚誠実な人柄で、同窓会

写真・絵画・文芸作品・随筆・手紙等 何でも歓迎! どしどし本部までお送り下さい。

の運営に常に率先して事に当たってこられました。先輩同窓生の築き上げてきた歴史を調和しながら営々と努力されてまいりました。一昨年にはひとつの節目として同窓会設立九十周年事業で、富山さん自ら担当責任者として尽力され事業を完遂され、更に新しい企画のもと第二歩を踏み出した所で、その実績を見ることなく倒れたことは無念であったらうと思っております。

又、自治会活動にも多忙な活動の中で、同窓会長の職責を全うされました。長いあいだ同窓会活動に御尽力いただき本当にご苦労様でした。ここに謹んで哀悼の意を捧げご冥福をお祈り申し上げます。(西村充宏)

第93回 定期総会

富山前会長を偲んで

鶴ノ森同窓会の ホームページ

<http://www.yokkaichi-th.ed.jp/unomori/>

「鶴ノ森同窓会」で検索して頂ければ結構です!是非一度閲覧ください。

鶴ノ森同窓会

◆第九四回定期総会のご案内◆

日時 令和二年五月十日(第二日曜日)

受付 午前九時三十分

開会 午前十時

場所 プラトンホテル四日市

会費 四千円

令和元年度事業計画

一、定期総会	五月十二日
二、奨学生の出選と助成(全定 若干名)	五月下旬
三、工業技術ものづくり支援制度作品選出	七月上旬
四、機関新聞「鶴ノ森」の発行(七、〇〇〇部)	七月中旬
五、四工祭(文化祭協賛)(OB作品出展)	十一月一日
六、新会員の入会式	九月下旬
七、優良卒業生の表彰	二月下旬
八、矢野奨励賞の表彰	九月下旬
九、クラス会支援制度展開	通年
十、記念館の整備・充実	随時
十一、支部結成の促進	随時
十二、会議(常任理事会・理事会・事業推進等)	年間約二十回

令和元年度本部役員

名誉会長	川崎 國男	事務局	日比 正徳
会長	田中 正美		藤吉 光
副会長	市川 信二	常任理事	秋田 真和
	中村 正幸		水谷 昌史
	水越 雅司		渡辺 克也
監査	西村 充宏		久保 克也
	前田 正徳		斎藤 浩英
			森 富茂
			茂樹

鶴ノ森同窓会 協賛 文化祭展示室

出展作品 募集!

昨年度も生徒会主催の四工祭に協賛事業として文化祭展示を平成三十年十一月二日に行いました。

当日は同窓生七名(二作品)、企業支部十二社より出展して頂き開催することが出来ました。

展示品は同窓会員が趣味で作られた作品で、芸術性に溢れた力作で、作品のジャンルとしては、「書」「水彩画」「水墨画」「写真」「陶芸」等で、展示会場に訪れた母校生徒や保護者、教職員からは称賛の声を頂いております。又、企業支部からは会社案内パンフレット等を提供して頂き保護者や生徒の関

心を集めておりました。しかしながら近年は出展者の高齢化に直面しているのが現状であり、昨年は出展者数が減少しました。現役の方、定年後の趣味として作品作りに励まれている方、また友人で出展して頂ける方のご紹介をして頂き、一度出展されては如何でしょうか。興味のある方は、同窓会HPにてご確認ください。

企業支部におかれましては、同窓会HPにて確認して頂き、企業支部の展示風景写真等も紹介して頂き、会社の魅力を紹介して頂いては如何でしょうか。

最後にになりましたが、出展頂きました同窓会員の皆様をはじめ、カタログ等を提供して頂いた各支部のご厚志にお礼

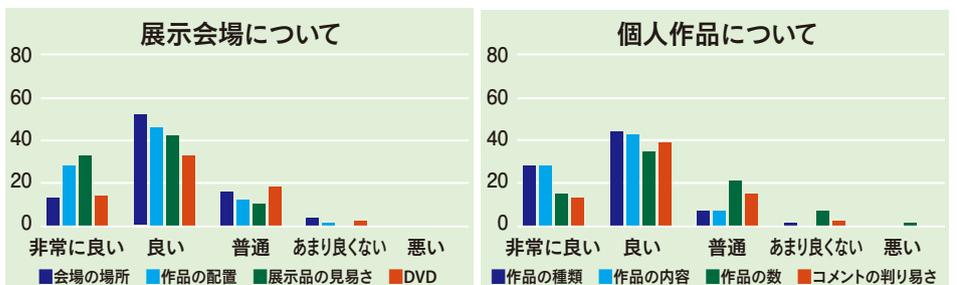
申し上げます。誠にありがとうございます。ご尽力頂きました本文役員、支部役員の皆様、事務局の先生方に厚く御礼申し上げます。

本年度も昨年同様、四工祭に協賛し文化祭事業を展開してまいりますので、皆様のご出展をお待ちしております。誠に申し上げます。

【出展者には心ばかりではありますが、出展御礼をさせていただきます。】



アンケート集計結果



ものづくり競技大会 に参加して 機械科

鶴ノ森同窓会のものづくり支援制度に採択していただきありがとうございます。

ものづくり同好会(機械科)では二年生四名、二年生二名で活動しています。活動の内容は、技能検定の取得と、ものづくり競技会の参加になります。

技能検定では、二級旋盤や二級機械製図C A



Dを受験して全員が取得しました。ものづくりコンテスト旋盤部門では県大会において三年連続優勝を果たしました。東海大会では、ミスをして五位となりました。若年者ものづくり競技大会では二年生が出場して、ブライス盤職種は入賞外でしたが機械製図CAD職種で銅賞になりました。技術のレ



ベルを上げるため日々練習した成果がでたと思えます。令和元年全国大会の出場が決まり更なる技術の向上を目指し頑張りたいです。

最後に、鶴ノ森同窓会ご発展を祈念し、ものづくり支援のお礼とさせていただきます。

高校生ものづくり コンテスト(木材加工部) 建築科

平成最後の年にもものづくりコンテスト全国大会が、三重県の地で開催されました。

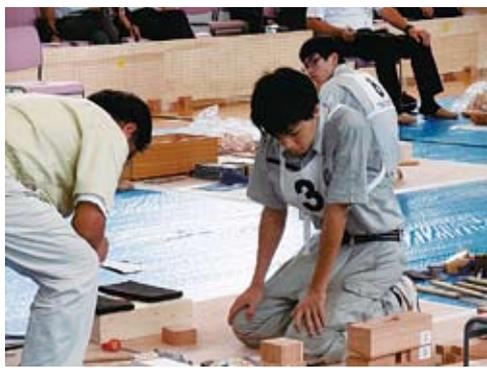
三重県大会では三位、東海大会では上位入賞できませんでした。開催県で三年曾根誠太郎が出場しました。鶴ノ森同窓会の支援のおかげで材料の確保ができ、大会が実施された十一月十八日まで多くの練習を重ねられました。目標であった全国大会三位以上は達成できませんでしたが、今までで一番の出来映えの作品を作り上げられました。そして彼は、この出

来事などを通じて、ものづくりの醍醐味を肌で感じ、大工への道を進むこととなり、今後が非常に楽しみです。

木製水車で、昨年からの構想を実現するため、日々の製作を

重ね、文化祭では二メートルを超えるジャンボ水車を完成させることができました。また、技能検定三級においては九人の合格を果たし、二年生の古川拓磨が、最高得点である知事賞を受賞することができました。

今年度は、年号もかわり、ものづくりコンテストの課題もかわり、二からの出発となります。高校生に求められる技能・技術が益々高くなりつつあります。今後も引き続きご支援をよろしくお願い致します。



ものづくり 支援制度

高校生ものづくり コンテスト三重県大会 (化学分析部門) 物質工学科

今回、鶴ノ森同窓会のものづくり支援制度に採択していただき、ありがとうございます。

ものづくりコンテスト化学分析部門というのは、キレート滴定法により試料水中のCa及びMgを定量します。団体の部と個人の部があり、本校は団体の部として、Aチーム(三年中濱棧哉、



稲富杏香、永島優)とBチーム(二年上條雪乃、松井優河)が、出場し、Aチームが団体二位となりました。個人の部では、残念ながら入賞を逃しました。来年度は本校が会場となるので、東海大会出場を目標に、お互いに励ましあい、技術を高めようチームと

なつてほしいと思います。最後に、鶴ノ森同窓会のますますの発展と、会員のみならず、今後のご活躍を祈念し、ものづくり支援のお礼とさせていただきます。

相撲ロボット、アマフト ロボットの製作 電子機械科

この度は鶴ノ森同窓会のものづくり支援制度に採択していただき、ありがとうございます。

平成三十年度はものづくりの進め方を大きく変えました。デザインレビューを複数回行い、生徒同士で意見をぶつけ合いながら設計を改善しました。製作のほうも大会二ヶ月前の完成を目標に活動し、概ね達成できました。結果として、ロボット相撲大会では二チームが東海大会を勝ち抜き、全国大会に出場しました。また、ロボットアメリカン

フットボール大会でも県予選を突破し、全国大会に出場しました。しかし、いずれの全国大会においても上位に進出できず、悔しい結果となりました。

近年、競技レベルの向上が著しいと感じています。上位層に勝つためには、高精度のセンサーや高トルクのモーターが必要となります。この

ものづくり支援制度のおかげでそのような部品を購入することができ、感謝しております。

今後、ご支援



渡辺 匠悟

(平成30年度 全日制 電子工学科卒業)

進路先
NTN株式会社



学生から社会人となり早くも一カ月が経ちました。働いてお金を稼ぐという事は本当に大変な事で、今まで育ててくれた両親に深く感謝しています。これからは恩返しができるよう、そして自立していけるよう頑張りたいと思います。

NTN株式会社が製造しているベアリングという部品は様々な産業機械の回転部に用いられており、自分の一つの測定ミスやキズの見落としが現場の生産性低下や、お客様の信頼を失う事に繋がるので毎日慎重に作業しています。

しかしそれ以上には気がつけなければいけないのがケガをしない事です。労働災害の講義を受けた際、強く印象に残った言葉があります。それは「会社は従業員の一人を失ったに過ぎませんが、私は人生の全てを失いました」と言う被災された方の奥さまの言葉です。

ケガだけは絶対にしないよう常に心掛けて仕事に取り組みを行います。

今日も一日ご安全に。

新会員だより



水谷 祐葵

(平成30年度 全日制 電子工学科卒業)

進路先
慶應義塾大学 環境情報学科



私が慶應義塾大学に入学し、早一ヶ月半が経ちました。現在、体育會バスケットボール部に所属し、寮生活をしながら、勉強と部活動に打ち込む日々を送っています。

私の一日の生活を紹介します。朝六時に寮を出て日吉で練習をした後、電車と自転車で湘南の校舎に移動し三、四限の授業を受け、夕方日吉に戻って練習、それから寮に帰って課題に取り組みます。たくさんさんの文献を読んだり、データ解析をしたり、毎晩夜遅くまで勉強しています。

強いています。バスケットボール部の活動に関しては、これまでに関東バスケットボール選手権大会や慶應戦があり、チームの一員として試合を経験しました。

六月には新人戦と早慶戦、秋からは毎週土日に関東リーグ戦が控えています。ますます忙しくなることが予想されますが、文武両道は私が幼い頃から目指してきたモットーで、四工時代も三年間貫いてきました。これからも何事にも全力で取り組み、世の中に貢献できる人間になれるよう努めていきます。

昭和42年卒 機械科



平成30年10月10日
四日市シティホテル「みやび」

昭和35年卒 工業化学科



平成30年9月14日
希望荘

昭和36年卒 定時制機械科



平成30年6月10日～11日
希望荘

クラス会報告

- ① 対象 クラス会学年同窓会および地区委員会など。
- ② 内容 申請書に会員名簿と集合写真を添えて同窓会事務局まで郵送する。
- ③ 支援金 出席人数×三百円 但し千円未満は四捨五入して支給。

昭和42年卒 定時制機械科



平成31年4月20日
プラトンホテル四日市

昭和42年卒 建築科



平成30年11月17日
四日市都ホテル

昭和37年卒 工業化学科



平成30年10月15日
伝七郎「神楽」



ビール工場視察



当支部の第二回目となる総会・懇親会を三月十六日に銀座にて開催しました。当日は、同窓会本部の田中会長代理、日比事務局及び関西支部の伊藤支部長ご出席のもと、総勢二名の参加者の方々と有意義な親睦を深めることが出来ました。総会は、支部長の挨拶の後、田中会長代理からの母校近況や新卒業生の進路状況などの報告は、母校を離れ情報が繋がり難い当支部の参加者たちは、非常に興味を示し喜んでいました。一方、懇親会では、今回は昨年以上に相互理解を深める為に、参加者の四工時代の所在地別に名札の紐の色分けをしたこともあり、互いに同郷であることがわかりあえ一層話題が弾みました。又、参加者全員が近況報告などを行い、皆さん和気藹々の雰囲気の中で大いに盛り上がり、有意義な一時を共有しました。

「企業支部へお願い」
企業支部の会員で関東支部へ異動したときは、関東支部へ連絡をお願いします。

十月 ウオーキング
十二月 忘年懇親会
三月 総会



総会

関東支部の現況

平成30年
三月十七日発足

支部だより

JSR

昭和52年4月発足
会員数 428名

JSR支部の近況を報告させて頂きます。今年度は、母校より



二二名の新人社員を迎える事が出来ました。現在、JSRでは、低燃費タイヤ製造プラントの海外展開を進めており、タイに引き続き、ハンガリーにも建設しております。多くの会員も、立ち上げ業務のために渡欧して活躍していただいております。今年度は、母校より

KHネオケム

昭和60年4月発足
会員数 134名

KHネオケムは、協和発酵グループから二〇一六年に独立し、化学品会社として東証一部に上場を果たしております。主力工場である四

日市工場の社員数は、三月末時点で三十七人。ここに四日市工業卒業生が四割を占め、工場の屋台骨となって支えています。四日市工場では、現在冷凍機油原料新規プラントの建設真っ最中。その他、会社としては社員満足度アップ等にも取り組み、「世界で輝くスペシャリティケミカル企業」を目指して邁進中です。

NTN

昭和26年6月発足
会員数 83名

NTN支部の蛍雪会は昭和二六年に発足されて以来六八年間毎年新人社員を迎え入れ歓迎会や定期総会等の支部活動を行っています。本年も母校から二名の同窓生を迎え会員数は八十三名を数えます。NTNは、昨年創立百周年を迎え中期経営計画「DRIVE NTN 100」をスタートさせました。最新デジタル技術と既存経営資源を融合する事で革新的な技術・商品・サービスを開



発し、周りの生活や社会をもっとなめらかにする事に努めて参ります。



富士電機

昭和45年4月1日発足
会員数 116名

本年度は母校からの新入社員を一名迎えることが出来ました。現在埼玉地区で二年間の研修課程に取り組みしており来年四月には富士電機マンとして、たくましい姿で三重に帰ってくるものと楽しみにしています。鶴ノ森会活動につきましては、会社組織の変革などもなう異動・転籍などそれぞれが忙

パナソニック

平成25年5月発足
会員数 145名

パナソニック四日市支部では、今年度も母校より電気科・物質工学科・機械科・建築科より



各名を迎えることができました。約一ヶ月間の研修を経て、五月初旬に各職場へ配属されました。パナソニックは、今年度「百年目」を迎えましたが「新しいパナソニック」の二年目と位置づけ、次の百周年を築くべく積極果敢な人財となるよう支部会員で指導していきたくと思います。

関西支部

平成8年4月発足
会員数 183名

四月二十日に開催された第二十四回総会・懇親会の集いには、田中会長代理・前田様及び三重県関西事務所より中嶋所長・川波様、松阪高校の和手関西同窓会会長、宇治山田高校の小池支部長にもお越し頂きました。又、四日市商業卒の「伝統文化を守る会」四名による「かっぱれ」を披露頂き二三名の卒業生参加の方々と有意義に親睦を深める事が出来ました。会員数は高齢化が進み、逝去・退会希望等があり現在二八三名に減少しております。今回不参加の三七名の方からも近況報告を



頂き一体感を保っております。関西圏の広域ですが、大阪三重県人会様及び関西三重県高校同窓会連絡協議会(十二校)様と連携を続け活動の輪を広げて行きます。新しく発足した関東支部とも情報を共有し「参加して楽しい同窓会」に邁進致します。

コスモ石油

昭和36年1月1日発足
会員数 122名

二月に支部総会を開催し、毎年の恒例行事として各職場の会員が顔を合わせ親睦を深めました。四月には二名の新しい仲間を迎え入れ、彼らは五月に各職場へ配属され先輩方の指導の下、頑張ってお



ります。私達は「ココロも満タンに」のスローガンのもと、社会から信頼され、お客様から選ばれる企業をめざすコスモ石油グループであり続けます。



しい日々を過ごすなか停滞が、活気が、あふれる支部にしたいと思えます。

太陽化学

昭和48年4月28日発足
会員数 41名

太陽化学支部の近況報告を致します。平成最後の今年も母校より一名の新入社員を迎える事ができました。

た支部総会を開いて親睦を深めています。会社の状況としましては、前期業績で国内外とも順調な販売に牽引され過去最高となりました。令和の時代を向かえましたが、その由来のごとく明るい希望を持ち、支部活動を継続していきます。



設立十九年目を迎える現在の会員数は四十五名であります。四月には総会を開催しまして新役員が選出され、今年度の行事も承認されました。主な行事は
① 椿会館で開催の定期総会
② 工場見学会(最も会員が楽しみにしております)
③ 鶴森神社で開催の新

機械部会

平成13年3月20日発足
会員数 45名

年懇親会(二次会)が趣味! 特技を披露する懇親会(五十代から八十代と幅広い構成ですが、一定年後を元気に生きる)をモットーに和気あいあいと活動してまいります。随時会員を募集しておりますので、企業支部を抜けられた後に余暇の楽しみ場として加入下さい。



東ソー

平成4年4月発足
会員数 211名

私ども東ソー支部に今年も元気で活発な新人十一名(男性十名、女性一名)が加わり、すでに配属先にて将来当社を支える人材へと成長を続けています。現在、事業所では製造プラントの更新や新研究所建設等の設備投資に加え、安全対策や老朽化対応など活気溢れています。歪な年齢構成(四十代が極端に

少ない)の中の世代交代への不安も同時に溢れている状況です。若年層の不安を少しでも軽減するため、支部活動を活性化し、風通しの良い活動を進めて参ります。



PR展示を兼ねた待合ホール



光精工

昭和47年3月発足
会員数 20名

鶴ノ森同窓会光精工支部の近況をご報告いたします。

前回二〇一七年度にご報告をさせて頂きました。ほぼ状況に変化は有りません。本年度も新しい会員の入会もなく同ジャンパーで活動しておりますが、定年で退会される方も見えますので、限界集落状態になっています。

私ども三菱ケミカル支部には昨年引き続き今年も十名の新社員を母校より迎えることが出来ました。昨年は諸事情により支部総会を開くことが出来ませんでした。今年度は七月に開く予定で、最近では会の活動が停滞気味ですが、再び活気のある支部を取り戻していきたいです。

三菱ケミカル

平成29年4月発足
会員数 260名



が変更されました。今後は三重事業所を直しくお願いたします。

東芝三重

平成26年6月発足
会員数 95名

当支部は平成二六年六月に発足し、今年で六年目となる新しい支部です。今年度は支部を発足してから初めて母校より新社員を迎えることができました。

修を行い来年の三月に三重事業所の配属職場へ戻ってきます。二年間の研修で成長し、職場での活躍を期待したいと思っております。当支部は今後も会社生活が楽しく、活気あふれる職場づくりに貢献できるよう活動をしていきたいと思っております。

東芝メモリ

平成24年10月発足
会員数 210名

当社は株式会社東芝より独立し、早二年が経過しました。東芝メモリ支部は七年前の二〇一二年に発足した新しい支部で会員は今年の新入社員十名を含め二〇二〇名となりました。当工場は半導体製造の最先端工場としてフル稼働し今もなお拡張しながら躍進し続けています。昨年の十月二日には定期総会を開催しました。総勢五十名が出席し懇親を深めまし

た。最後に母校と支部並びに工場の発展を祈念し、記念撮影を行いました。今後は定期的にもイベントを開催し、活気ある支部にしていきます。



ぜひ、本部のお力添えで、新規入会員が増えますようご支援のほどお願い申し上げます。最後に、支部活動が継続できるよう、努力させていただきます。

